2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月５日

上 場 会 社 名　　藤田観光株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　9722　　URL　https://www.fujita-kanko.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役兼社長執行役員　　（氏名）　山下　信典
問合せ先責任者　（役職名）　企画本部　経理財務部長　　（氏名）　石原　靖子　　（TEL）03-5981-7723

配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	59,890	2.1	7,860	△10.7	7,528	△12.8	9,020	57.3
2025年12月期第３四半期	58,646	8.2	8,798	14.6	8,631	9.8	5,735	6.0

(注) 包括利益 2026年12月期第３四半期　7,847百万円(　7.3%) 2025年12月期第３四半期　7,316百万円(　31.6%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	150.52	―
2025年12月期第３四半期	94.83	―

(注) 当社は、2026年１月１日付で普通株式１株につき５株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり四半期純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	98,026	43,871	44.8
2025年12月期	98,834	36,818	37.3

(参考) 自己資本　2026年12月期第３四半期　43,871百万円　2025年12月期　36,818百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	0.00	―	70.00	70.00
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

(注) 当社は、2026年１月１日付で普通株式１株につき５株の割合で株式分割を行っております。2025年12月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2026年12月期（予想）については、当該株式分割後の数値を記載しております。

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,000	2.4	13,200	△4.3	12,800	△6.6	12,500	34.5	208.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

(注) 当社は、2026年１月１日付で普通株式１株につき５株の割合で株式分割を行っております。連結業績予想における１株当たり当期純利益については、当該株式分割後の数値を記載しております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：有

除外　１　社　（社名）ＷＨＧ関西株式会社

（注）詳細は、添付資料８ページ「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）」をご覧ください。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

詳細は、添付資料８ページ「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	61,037,120株	2025年12月期	61,037,120株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	1,098,967株	2025年12月期	1,118,520株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	59,928,387株	2025年12月期３Ｑ	59,920,847株

(注)当社は、2026年１月１日付で普通株式１株につき５株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については添付資料３ページ「１.当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や個人消費の持ち直しなどにより、緩やかな回復基調で推移しました。ホテル・観光業界においては、東アジアの一部地域からの訪日外国人数が減少したものの、欧米豪からの需要が伸長し、訪日外国人数は前年と同水準となりました。

当社においては、2026年度の重点施策として収益力向上のための改装を実施しています。「東京ベイ有明ワシントンホテル」の大規模改装を８月に完了、「キャナルシティ・福岡ワシントンホテル」は９月にリニューアルオープンしました。また、「ホテル椿山荘東京」での宴会場新設や「箱根ホテル小涌園」の増築工事等を進めました。

売上面では、客室改装による売り止め影響がありましたが、欧米豪からのインバウンド需要や、箱根小涌園において国内の夏休み需要を獲得したことによりＡＤＲ（客室平均単価）が上昇し増収となりました。コスト面では、改装に伴う一時費用や減価償却費が増えたほか、賃上げ等の処遇改善による人件費や、海外プロモーション強化に伴う広告宣伝費が増加しました。

これらの結果、当社グループ全体の売上高は前年同期比1,243百万円増収の59,890百万円、営業利益は前年同期比937百万円減益の7,860百万円、経常利益は前年同期比1,103百万円減益の7,528百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券の売却があり、前年同期比3,284百万円増益の9,020百万円となりました。

業績の概要は以下のとおりです。

（単位：百万円）

	2026年第３四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高	59,890	1,243
営業利益	7,860	△937
経常利益	7,528	△1,103
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,020	3,284

セグメント別の概況については以下のとおりです。

セグメント別売上高・営業利益　（単位：百万円）

	売上高		営業利益又は営業損失（△）	
	実績	前年同期比	実績	前年同期比
ＷＨＧ事業	35,755	38	6,842	△1,089
ラグジュアリー＆バンケット事業	14,312	674	394	133
リゾート事業	8,754	402	673	32
その他（調整額含む）	1,067	128	△50	△14
合計	59,890	1,243	7,860	△937

（注）調整額は、セグメント間取引消去および各セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

ＷＨＧ事業では、当期の重点施策として既存事業所の改装による商品力強化を進めております。「キャナルシティ・福岡ワシントンホテル」を全館改装工事のため４月から８月まで休館し、また、「ホテルグレイスリー新宿」では居住空間を広げるなど、利便性・快適性向上を目的とした改装により、延べ約15万室の売り止めがありました。一方で、海外セールスの強化により、欧米豪からのインバウンド宿泊者数が前年同期比で増加しました。これによりＡＤＲが上昇し、同事業全体の売上高は前年同期並みの35,755百万円となりました。営業利益は改装に伴う一時費用等が増加し、前年同期比1,089百万円減益の6,842百万円となりました。

ラグジュアリー＆バンケット事業では、「ホテル椿山荘東京」において、庭園が一望できる宴会場の新設を進め、付加価値向上・収益力強化を図っております。売上面では、婚礼、料飲、宿泊部門で前年同期比増収となりました。婚礼部門は、料理・飲物・装花などの商品力強化により施行件数・単価が増加しました。料飲部門は、季節感を取り入れたアフタヌーンティーメニューの提供や、慶事目的の利用人数が増加し、増収となりました。宿泊部門は、ＯＴＡ（オンライントラベルエージェント）でのプロモーションを強化し、国内外の個人客獲得に取り組みました。同事業全体では前年同期比で売上高は674百万円増収の14,312百万円、営業利益は133百万円増益の394百万円となりました。

リゾート事業では、「箱根小涌園　天悠」において、欧米を中心とした海外個人客を獲得し、高稼働を維持しつつＡＤＲが上昇、増収となりました。「箱根ホテル小涌園」では、自社サイトでの販売強化や、需給動向に合わせた価格設定によりＡＤＲが上昇しました。また、箱根小涌園ユネッサンと連動したコンセプトルームの新設などファミリー層の需要を取り込みました。「箱根小涌園ユネッサン」では、アニメとのコラボレーション企画による集客や、箱根小涌園の宿泊者利用により、入場人員が増加しました。同事業全体では前年同期比で売上高は402百万円増収の8,754百万円、営業利益は32百万円増益の673百万円となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比807百万円減少の98,026百万円となりました。主に現金及び預金が1,367百万円増加した一方、投資有価証券の売却等により固定資産が1,579百万円減少しました。

負債は、借入金の返済等により、前連結会計年度末比7,861百万円減少の54,154百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末比7,053百万円増加の43,871百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が8,181百万円増加しました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2026年８月６日に公表した見通しに変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,255	13,623
受取手形及び売掛金	5,888	5,614
商品及び製品	52	55
仕掛品	28	46
原材料及び貯蔵品	506	391
その他	1,949	1,720
貸倒引当金	△4	△2
流動資産合計	20,676	21,448
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,899	34,457
工具、器具及び備品（純額）	5,184	7,065
土地	5,990	5,962
建設仮勘定	1,795	2,389
コース勘定	2,521	2,525
その他（純額）	825	837
有形固定資産合計	51,215	53,238
無形固定資産		
その他	653	857
無形固定資産合計	653	857
投資その他の資産		
投資有価証券	16,716	12,908
差入保証金	9,362	9,409
その他	213	167
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	26,288	22,481
固定資産合計	78,157	76,577
資産合計	98,834	98,026

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,239	920
短期借入金	7,792	6,899
1年内返済予定の長期借入金	7,388	5,433
未払法人税等	3,037	2,598
賞与引当金	408	1,130
その他	9,501	8,484
流動負債合計	29,366	25,466
固定負債		
長期借入金	12,475	8,862
役員退職慰労引当金	104	17
資産除去債務	964	974
退職給付に係る負債	5,845	5,897
会員預り金	9,976	10,243
その他	3,282	2,693
固定負債合計	32,648	28,688
負債合計	62,015	54,154
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	12,013	12,043
利益剰余金	18,688	26,870
自己株式	△917	△901
株主資本合計	29,885	38,111
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,693	5,525
繰延ヘッジ損益	19	22
為替換算調整勘定	△414	△392
退職給付に係る調整累計額	634	605
その他の包括利益累計額合計	6,933	5,760
純資産合計	36,818	43,871
負債純資産合計	98,834	98,026

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	58,646	59,890
売上原価	46,769	48,737
売上総利益	11,876	11,152
販売費及び一般管理費	3,078	3,292
営業利益	8,798	7,860
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	307	417
受取地代家賃	86	96
その他	138	110
営業外収益合計	534	626
営業外費用		
支払利息	341	292
為替差損	236	191
支払手数料	－	290
その他	122	183
営業外費用合計	700	957
経常利益	8,631	7,528
特別利益		
投資有価証券売却益	－	5,999
事業撤退損失引当金戻入額	25	－
特別利益合計	25	5,999
特別損失		
減損損失	23	29
事業撤退損失引当金繰入額	35	－
固定資産売却損	13	－
災害による損失	11	－
特別損失合計	83	29
税金等調整前四半期純利益	8,573	13,498
法人税等	2,837	4,477
四半期純利益	5,735	9,020
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,735	9,020

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	5,735	9,020
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,623	△1,168
繰延ヘッジ損益	6	2
為替換算調整勘定	△41	22
退職給付に係る調整額	△7	△29
その他の包括利益合計	1,580	△1,172
四半期包括利益	7,316	7,847
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,316	7,847

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

当第３四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるＷＨＧ関西株式会社は、ＷＨＧ西日本株式会社を存続会社とする吸収合併（合併期日：2026年７月１日）により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税金等調整前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	WHG事業	ラグジュアリー&バンケット事業	リゾート事業	計				
売上高								
宿泊	33,039	2,475	6,489	42,004	－	42,004	－	42,004
婚礼	－	4,779	－	4,779	－	4,779	－	4,779
宴会	－	2,644	－	2,644	－	2,644	－	2,644
料飲	－	2,411	－	2,411	－	2,411	－	2,411
日帰り・レジャー	－	－	1,468	1,468	－	1,468	－	1,468
その他	2,655	1,266	390	4,312	1,024	5,337	－	5,337
顧客との契約から生じる収益	35,695	13,577	8,348	57,621	1,024	58,646	－	58,646
その他の収益	－	－	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	35,695	13,577	8,348	57,621	1,024	58,646	－	58,646
セグメント間の内部売上高又は振替高	22	60	3	85	1,806	1,891	△1,891	－
計	35,717	13,638	8,351	57,707	2,830	60,538	△1,891	58,646
セグメント利益又は損失(△)	7,932	260	641	8,833	△42	8,791	6	8,798

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない清掃事業、不動産周辺事業、会員制事業などがあります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額６百万円には、セグメント間取引消去16百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△９百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	WHG事業	ラグジュアリー&バンケット事業	リゾート事業	計				
売上高								
宿泊	33,280	2,558	6,738	42,576	―	42,576	―	42,576
婚礼	―	5,188	―	5,188	―	5,188	―	5,188
宴会	―	2,531	―	2,531	―	2,531	―	2,531
料飲	―	2,597	―	2,597	―	2,597	―	2,597
日帰り・レジャー	―	―	1,604	1,604	―	1,604	―	1,604
その他	2,455	1,384	408	4,248	1,141	5,390	―	5,390
顧客との契約から生じる収益	35,735	14,260	8,751	58,748	1,141	59,890	―	59,890
その他の収益	―	―	―	―	―	―	―	―
外部顧客への売上高	35,735	14,260	8,751	58,748	1,141	59,890	―	59,890
セグメント間の内部売上高又は振替高	19	51	2	73	1,727	1,801	△1,801	―
計	35,755	14,312	8,754	58,822	2,869	61,691	△1,801	59,890
セグメント利益又は損失(△)	6,842	394	673	7,910	△34	7,876	△16	7,860

(注)１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない清掃事業、不動産周辺事業、会員制事業などがあります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△16百万円には、セグメント間取引消去６百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△22百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産および長期前払費用に係る償却費を含む）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	3,090百万円	3,554百万円